

令和3年 10月「月報」

1 はじめに

新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向にある一方、重症者数は高い水準で推移していることを理由に、政府は9月9日の対策本部会議において、下表のとおり21都道府県に発令されている緊急事態宣言から、宮城県と岡山県をまん延防止等重点措置に切り替え、19都道府県には9月30日まで延長することを決めました。

その後更なる新規感染者数の減少に伴い、政府は、9月28日の対策本部会議において、19都道府県に発令中の緊急事態宣言と、宮城など8県に適用しているまん延防止等重点措置を30日の期限で全面解除することを決めました。

	9月12日までの宣言対象	9月30日までの宣言対象	10月1日以降
緊急 事態 宣言	北海道、宮城、栃木、群馬、茨城、東京、埼玉、神奈川、千葉、静岡、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大坂、兵庫、岡山、広島、福岡、沖縄の21都道府県	北海道、栃木、群馬、茨城、東京、埼玉、神奈川、千葉、静岡、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大坂、兵庫、広島、福岡、沖縄の19都道府県	全面解除
まん延 防止等 重点 措置	福島、山梨、富山、石川、香川、愛媛、高知、佐賀、長崎、熊本、宮崎、鹿児島 の12県	宮城、福島、石川、岡山、香川、熊本、宮崎、鹿児島 の8県	全面解除

本会は、10月3日に愛知県（蒲都市）において、防衛講演会を予定していましたが、上記のとおり、愛知県への緊急事態宣言が9月30日まで適用され、講演会場の確保が困難などの理由により、止むを得ず「中止」しました。

一方、9月29日には自民党総裁選挙が行われ、岸田文雄前政調会長が第27代総裁に選ばれました。

10月上旬の臨時国会において首相指名選挙が行われ、岸田氏が第100代内閣総理大臣に就任する予定です。

2 防衛省・自衛隊の活動

(1) 陸上自衛隊演習

陸上自衛隊は、令和3年9月15日（水）～11月下旬までの間、令和3年度「陸上自衛隊演」を実施中です。

本演習は、平成5年以来約30年ぶりに陸上自衛隊全部隊を対象として実動演習に取り組む大規模演習であり、作戦準備段階に焦点を当て、次の5つの訓練項目から構成され、これらを統一的に行うことで、作戦準備に関する総合的な検証及び練度の向上を図るものです。

- ①駐屯地・分屯地ごとに防衛出動のための準備を行う「出動準備訓練」
- ②各種輸送手段を活用し、3コ師・旅団を同時期に機動展開させる「機動展開等訓練」
- ③予備自衛官を招集し部隊を編成する「出動整備訓練」
- ④補給品の輸送や、患者の後送を行う「兵站・衛生訓練」
- ⑤作戦地域一帯のシステム通信を拡充する「システム通信訓練」

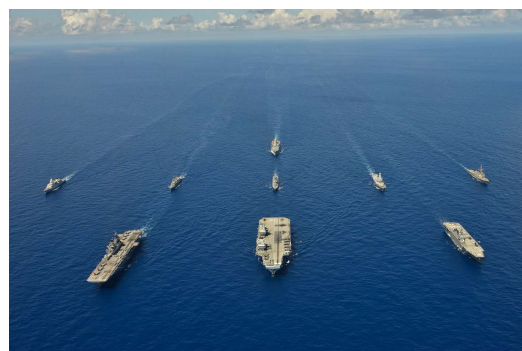
吉田陸幕長は、ホームページ上で「本訓練を通じて、陸上自衛隊の即応性や作戦運用の実効性向上を図り、我が国の抑止力・対処力の強化に寄与する」と述べています。

(2) 陸海空自衛隊が「大規模広域訓練2021」に英国空母などとともに参加

8月24日、陸海空自衛隊は、沖縄南方海空域において米国主催の「大規模広域訓練2021」に参加し、英国空母「クイーン・エリザベス」(以下「QE」という)などと共同訓練を行い、戦術技量の向上並びに米軍、英軍及び蘭軍との連携の強化を図りました。

本訓練には、陸上自衛隊から水陸機動団、第1ヘリコプター団及び西部方面航空隊が、海上自衛隊からは、護衛艦「いせ」及び同搭載航空、護衛艦「あさひ」が、航空自衛隊からは、第9航空団(F-15J/DJ)及び南西航空警戒管制団が参加しました。

また、米軍からは、米軍強襲揚陸艦「アメリカ」及び搭載航空機(F-35B)、ドック型揚陸艦「ニューオーリンズ」、駆逐艦「ザ・サリバズ」などが、英軍からは、空母「QE」及び搭載航空機(F-35Bなど)、駆逐艦「ディフェンダー」、フリゲート「ケント」が、蘭軍からはフリゲート「エファーツェン」などが参加しました。



前列左から米「アメリカ」、英「QE」、日「いせ」

(2) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための災害派遣(第15旅団)

第15旅団は、令和3年8月12日から9月5日までの間、沖縄県からの「新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止」に係る災害派遣要請により、医療施設(入院待機ステーション)において医療支援活動を行いました。

当初は、8月12日から25日の間で撤収する予定でしたが、感染拡大が止まらないため、8月25日に玉城沖縄県知事からの派遣延長要請を受理しました。

これに伴い、看護班(看護官等5名)の隊員を第15旅団の隊員から新たに第8師団より配属された隊員と交代し、任務を継続しました

医療支援活動最終日となる9月5日には、玉城沖縄県知事が入院待機ステーションを訪れ、第15旅団長(佐藤真陸将補)に対し災害派遣撤収を要請するとともに同活

動に対する謝辞を述べました。



患者を介助する看護班の隊員



沖縄県知事からの謝辞を受ける佐藤第15旅団長

3 家族会の活動

(1) 第45次派遣海賊対処行動航空隊への慰問・激励（青森県家族会）

9月22日、青森県自衛隊家族会（野呂和生会長）は、ソマリア沖・アデン湾における海賊対処のために派遣される第45次航空隊（隊司令：中川^{まさと}蔵太2等海佐、八戸基地）への慰問・激励を担当しました。

当日は、野呂青森県家族会会長が、同県家族会の室谷三八地区協議会会長及び小笠原青森県隊友会八戸地区支部長とともに八戸基地を訪問し、第2航空群司令の降旗海将補を表敬し、本会からの激励品を贈呈しました。



降旗群司令へ激励品を贈呈する野呂会長

(2) 中国地域協議会の開催

9月2日、令和3年度の地域協議会の先陣を切って、中国地域協議会（福谷薫会長）が、島根県自衛隊家族会（佐藤孝子会長）の担当で、松江市玉造「ゆーゆ」コンベンションホールにおいて開催されました。

中国地域協議会は、コロナ禍のため昨年度は中止し、本年度も、首都圏はじめ21都道府県に緊急事態宣言が発令中のため開催が危ぶまれましたが、同じ悩み等を抱えている中国各県の役員が一堂に会することの意義を考慮し、福谷地域協議会長及び佐藤担当県会長の強力なリーダーシップと各県役員及び担当県家族会会員有志による強い支援により開催の運びとなりました。

当日は、中国5県の会長等総勢約50人（特に多くの女性会員が参加）が参加するとともに、本部から地域担当の鍛冶運営委員が参加しました。

コロナ対策のため、恒例の来賓等を招いての懇親会は勿論中止とし、会議自体も、「1名も感染させてはならない」という強い緊張感をもって、発表者降壇後のマイク・演台の除菌措置等の対策を万全に行い、実施しました。

コロナ禍における各県の状況共有を目的として、本部指定討議テーマの『コロナ禍における各県活動状況』と、『新会員獲得の為の施策』について、それぞれ討議しました。

発表した各県は一律に、対面が制限される状況での活動の深刻な困難さを訴え、この状況の一日も早い解消を願っていました。一方、制約下にあっても、可能な活動を実施している県、地区会の発表もあり、具体的な施策について再確認するなど活発な討議が行われました。

参加した会員からは、「同じ悩みを持つ者同士が、相手の顔を見て意見を述べることができたことに対して満足した」との意見が聞かれ、有意義な協議会となりました。

最後に、島根地本長（高橋洋二 1 陸佐）の「近年の災害派遣」の講演を拝聴し、実質 3 時間で散開となりました。



開会挨拶する佐藤島根県家族会会長



コロナ対策（演台・マイク除菌）

（3）鳥取地本の広報活動を支援（鳥取県自衛隊家族会）

9月18日、鳥取県自衛隊家族会（前田節夫会長）は、鳥取砂丘こどもの国で開催されたイベント「はたらく自動車がやってくる！」に広報ブースを出展する鳥取地本の広報活動を支援しました。

自衛隊以外の企業等も参加した本イベントは、子ども達が色々な仕事に興味を持ち、また、家族で防災意識を高めることを目的として開催されたもので、第8普通科連隊（米子駐）が軽装甲機動車や人命救助セットなどの展示、鳥取地本がミニ制服試着コーナー、VR体験及び南極の氷展示などを行い、多くの家族連れが来場しました。

当日は、大原章男東部地区会長ほか4名の会員がビブスを着用し、コロナ対策に万全を期しながら、来場者の受付や応対等の広報支援を行いました。



来場者対応の家族会会員



参加者全委員での記念写真



説明する8普連の隊員

（4）「自衛官募集」の垂れ幕贈呈（岡山県自衛隊家族会鏡野地区会）

世界中がコロナ禍の昨今、家族会の活動が全くできない状態を危惧した岡山県自衛隊家族会鏡野地区会（石原 ^{よしあき} 剛丙会長）は、「今は前を向いて、今でなければできないこと」を模索した結果、「自衛官募集広報懸垂幕」を作成し、鏡野町庁舎壁面に懸垂す

ることを発案しました。

6月24日、鏡野町役場応接室において贈呈式が行われ、その様子が町報に掲載されました。

山崎鏡野町長からは「自衛官募集のために使わせていただきます」との言葉があり、優秀な人材確保に一役担ってくれることを念じます。



鏡野町報に掲載された贈呈式の様子と垂れ幕

(5) 「自衛官募集」看板の設置

伊丹自衛隊家族会（高木清志会長）は、コロナ禍の自衛隊応援策を模索していましたが、兵庫地本の募集活動を支援すべく「自衛官募集」看板を設置することとしました。

このため、学生の通学路（直近に学校の所在）に面する高木会長宅や、広い幹線公道に面した豊田幸子女性部部長の実家敷地などに募集看板を設置し、少しでも兵庫地本伊丹地域事務所の活動を応援したいと考えます。



高木会長宅に募集看板



豊田部長実家敷地に募集看板

(6) コロナ禍の活動スナップ

第26普通科連隊行進訓練激励



小平町自衛隊家族会の皆様からの熱い激励

道北 小平町自衛隊家族会（岡崎太一会長）

第7師団長距離機動訓練激励



道央自衛隊家族会（日川敏行会長）

(7) 東京オリンピック2020参加の自衛隊体育学校選手の訪問

10月1日、自衛隊体育学校長（豊田真陸将補）並びに東京オリンピック参加選手を代表して、濱田尚里（柔道）、乙黒拓斗（レスリング）及び並木月海（ボクシング）のメダリスト3名が本部事務局を訪問し、伊藤会長及び宮下副会長が対応しました。

当初、メダリスト3名が、本会の激励や応援に対するお礼の言葉を述べた後、それぞれから伊藤会長へ記念の皿や写真が贈呈されました。

その後、オリンピックのエピソードなどを話題に終始和やかに歓談しました。



家族会訪問記念写真



写真の贈呈



メダリストを囲んでの歓談